



せなみっこ

第4号

令和5年7月24日

村上市立
瀬波小学校



瀬波小HP

※ 第4号は地域回覧なし

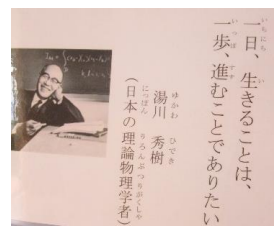
一歩、進むこと

～「挑戦」し、「成長」を実感する夏休みに～

校長 藤城 真二

今日の終業式で74日間（1年生は73日）の1学期が終了しました。新型コロナウイルスの対応が5類に変更されたこともあり、学校の教育活動が以前のようにダイナミックになってきたことを実感する学期でもありました。せなみっこは学びの場、かかわりの場を広げ、できること、分かることを増やしながらかつ充実した日々を過ごしていたと感じています。そして、大きな事故や病気もなく、終業式を迎えられたことを何よりもうれしく思っています。子どもたちの日々の努力はもちろんのことですが、保護者の皆様の学校に対するご理解とご協力のおかげと感謝しております。

さて、右画像は校内で掲示している「科学者の言葉」の1枚です。物理学者湯川秀樹博士の「一日、生きることは、一歩、進むことであリたい」という言葉が記されています。明日から夏休みを迎える子どもたちに改めて伝えたい言葉でもあります。



夏休み中は、家庭で過ごす時間が増えることで自分でじっくり考えたり、行動したりする機会が多くなります。ここで意識したいのは、「その子」に応じた「挑戦」「成長」を積み重ねていくということです。「挑戦」と聞くと、高いハードルを時間をかけてのり越えるようなイメージがあるかもしれませんが、しかし、アンテナを少し高くすると子どもの日常生活は「挑戦」であふれていることが見えてきます。些細と感じる「挑戦」でも、「子ども自身がよりよい自分の姿を目指して前に進もうとしている」と受け止めるだけで子どもの「成長」の姿が変わって見えることもあります。

また、「一歩進んでいる」と子ども自身が実感することも大切です。その「進み」が自覚できない場合も数多くあります。そんなときは、まわりの大人が「一歩進んでいるよ」と「成長」を伝え（価値付け）ることを心掛けます。その積み重ねが、子どもの自己肯定感や自己有用感を確実に高めます。自分のことが好きになった子どもは、自分のことを大切にします。そして、まわりの人を大切にします。

8月28日（金）が第2学期の始業式です。笑顔いっぱい子どもたちが登校してくれることを楽しみにしています。すてきな夏休みをお過ごしください。